

3学期スタート

アルモノグイ小学校でボランティアを始めた時は2学期でしたそれから3→4→1→2学期と経験し、ラスト3学期が始まりました。泣いても笑ってもあと2か月少いで筒井先生の任期は終了です。後悔のないように全力をつくしていきたいと思います。



最後の学期で一番力を入れたいのは1年生に算数を得意になってもらうことです。アルモノグイ小学校の1年生はみんな元気いっぱいですが、授業が始まるときちゃんと席について先生の話をよく聞いています。そんなかわいらしい1年生の算数サポートを最後の日までがんばっていきましょうと思います。

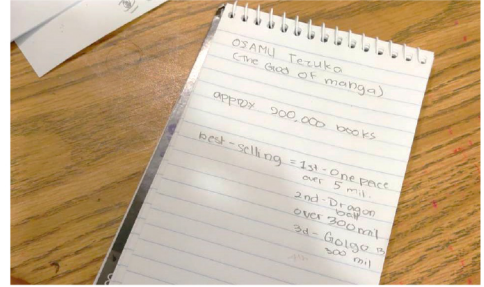
# パラオだより

第19号

## マンガの授業をしました



アルモノグイ小学校の子ども達はよく日本のマンガやアニメの話をしてきます。それに関する質問をよく受けるので、今回思い切ってマンガの授業をしました。前半は日本のマンガの歴史などについて解説し、後半は実際に子ども達にマンガをかいてもらうという流れで進めていきました。

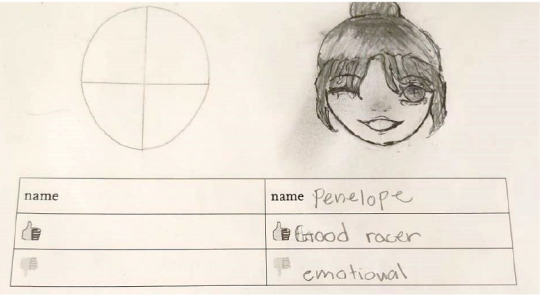


マンガの歴史や世界で最も売れているマンガのこと、どうやったら日本でマンガ家になれるのかななどを詳しく説明しました。筒井先生の話を一言一句聞き逃すまいとしっかりとメモを取る子もいて、パラオの子ども達がどれほどマンガが好きなのかがよくわかりました。(→の写真はそのメモです)

←マンガの「顔」をかいてみる活動の様子です。アタリと呼ばれる下書きの線上に、顔のパーツを描いていき、オリジナルのキャラクターを作ります。友達と相談しながら描く子や、完成した顔が気に入らず最初から描き直す子がいました。完成した作品はどれも上手でした(↓ある子の作品)



日本のマンガの主人公はみな欠点を持っていますが、なぜそれが必要なのか説明したうえで、自分のキャラクターの長所と欠点の両方を考えてもらいました。パラオの子ども達が、人間の欠点をどのように考えているのかがよくわかり、面白かったです。完璧な人間はどの世界にもいません。



name	name Penelope
👍	👍 Good racer
👎	👎 emotional

## 歯医者で学んだこと

歯の定期健診のため、数か月に一度、パラオの歯科医院にいます。そこには中野先生という日本人の歯医者さんがいます。中野先生にパラオの虫歯問題について教えていただきました。パラオには「ピンロウ」という実をガムのかむ



## 地域と文化



習慣があります。子どもでこれをかむ人はいませんが、大人のパラオ人はほぼ全員が、タバコを実の間にはさんでかんでいます。気分が良くなるそうですが、歯が真っ黒になります。こうなると、ちりょうできず歯を抜くしかなくなるそうです。なぜ歯がだめになるのかわかっていてかむのか不思議ですが、これも一つのパラオの文化です。